

市議会を傍聴、視聴して思うこと

○インターネット中継について、代表質問や議案説明など、自分が聞きたい部分までスキップできる検索機能があるといいと思う。

→ 議員）本会議の代表質問・一般質問では、聞きたい項目を目安にして探すことができる。委員会の中継ではできないので、自分が聞きたい部分を探すのが難しい。

○代表質問・一般質問について、質疑応答はなるべく簡潔にしてほしい。また、まず一つのことを質問したら、行政側がそれに対して答えて完結させ、細かく質疑応答を繰り返してほしい。やり取りを繰り返すうちに、答弁の内容によって質問もそれにつれて変わっていくべきである。

○一括質問一括答弁方式だと、議員が聞きたいことについての答弁が引き出しにくいのではないかと、質問のやり方を変えてほしい。

→ 議員）代表質問は一括質問一括答弁方式だが、一般質問では一問一答方式が多い。市民の方が丁々発止のやり取りを見たいという気持ちはよく分かる。本会議では、担当部長が行政側の統一見解として答弁している。質問に当たっては、議員が行政側に対して事前に質問の内容を伝えており、事前の調整がうまくいっていないと答弁が「検討します」で終わってしまう。

ただ、その場では明確に答弁がなくても、議員はその後の一般質問や委員会で再度取り上げることができるし、文書質問という方法でさらに質問することもできるので、その足掛かりとしていろんなことを聞くのもいいと思っている。

→ 議員）自分が議員になった16年前ごろは、質問は一括質問一括答弁方式でしかできず、市民の方から非常に分かりづらいという声があり、一問一答方式の採用に至った経緯がある。今日、代表質問が一括質問一括答弁方式で分かりづらいという意見をいただいたので、旧態依然ではなく市民の方に対して分かりやすい議会となるよう改革していきたい。

また、一般質問は通告制だが、委員会は原稿がない状態で議員と行政側がやり取りして迫力があるので、ぜひ委員会を傍聴・視聴してほしい。

○議員の質問に対する担当部長の答弁内容は、個人見解ではないのか。議員は自由に発言できるが、行政側はできないというのはおかしいのではないかと。

→ 議員）行政側には予算の提案権があり、議会はそれを審査する立場なので、予算を持っている行政側が本会議で「こうやります」と発言すれば、公式発言となる。

○委員会や本会議で議論したことについて、実際にその問題が解決しているのかどうか検証する、PDCAが一番大事だと思う。以前何度か傍聴したことがあるが、本会議では激論を交わすということがなく、単なる確認だけのように感じたので、ちゃんと検証が行われているのか、どのように行われているのか疑問に思った。ただ、今日「委員会ですら議論しているのでぜひ傍聴を」と聞いたので、委員会も傍聴しておけばよかったと思った。

→ 議員）審査した後どうなったのか、そのときできなかったことはいつやってもらうのか、そういった検証を行うことが大事だと考え、決算から次年度予算への政策サイクルを3年前か

ら取り入れている。道半ばではあるが、より市民の意見を反映できる形になっている。

○以前傍聴したときには一つの議案の流れがはっきり分からなかったが、今日話を聞いて少し流れが分かったので、勉強になった。

市議会だより、市議会ホームページについて

○県政だよりは何年か前に配布方法が新聞への折り込みや施設への備え置きに変わったが、新聞を購読していない人が増えているのでどうかと思う。市議会だよりは各世帯への配布なので、今後も継続してほしい。また、市議会だよりは市広報よりとても読みやすい。

○市議会だよりに載っている議案の賛否一覧表は、各議員の議案に対する賛否が○×で示されていて非常に分かりやすい。

議会運営（全般）について

○公明党と日本共産党以外の会派の四日市市議会議員は、政党としては無所属になるのか。また、8月定例会議の議案の賛否一覧表を見ると会派ごとにそろっているようだが、議案についての賛否は、会派内で党議拘束のようなものはあるのか。質問内容は会派ごとに指示されるのか。

- 議員) 会派というのは、同じ目的を持ち、同じ方向を向いて共にやっという集まりで、公明党、日本共産党以外の会派でも、政党に所属している議員もいる。
- 議員) 県議会や国会と異なり、市議会には政党から出ている議員もいるが、多くの議員は地域から出ている。地域にはいろんな考え方の人がいるので、政党色を出さずに同じ考え方を持つ議員の集まりとして会派を構成している。
- 議員) 同じ会派でもその議員の考えで賛否が分かれる場合もある。また、自分が所属していない委員会で扱う議案について、その委員会に所属する同じ会派の委員に「このように質問してほしい」と依頼することはある。会派内で質問内容が事前にチェックされることはない。

○会派の議員は4つの各委員会に所属するように調整するのか。会派は、意見を各委員会での最終決定や本会議での議決に至るまでの議論に反映させるための仕組みと理解すればよいか。その日の委員会での議論を各会派で確認して、翌日の委員会に臨むという真剣勝負をしていると感じた。

○3人の会派だと4つの常任委員会すべてに所属できないので、同じ会派の委員がない委員会には会派の意見は出しにくい。会派に4人以上の議員がいる方がやりやすいのだろうと思った。

- 議員) 同じ会派の委員がない委員会でも、全体会では意見を出せる。
- 議員) 予算・決算の委員会審査について、以前は予算・決算のいずれかに所属する仕組みで、一方の議案の審査にしか参加できなかった。すべての議員が参加できるよう、分科会での審査の後、全議員が全体会で審査する現在の方式に変更した。常により良いやり方を模索している。

○これまで市内各地で開催される議会報告会に参加してきたが、参加者が少ない。第1部の議会報告会ではあらかじめ決められたテーマへの報告で、第2部のシティ・ミーティングでもあまり意見が出ない。市長懇談会では各地区に参加者の割り当てがあるので、議会報告会でも開催地区の役員の方などに参加協力を求めて、その地区の要望を吸い上げてほしい。

- 議員) 貴重なご意見として承る。

市議会を傍聴、視聴して思うこと

- 一般質問でどんな質問をするか決めるのは議員個人に委ねられているのか。質問事項を会派で重要度や緊急性から検討したりはしないのか。
 - 議員）一般質問の質問事項を議員個人で決める会派、重複した質問がないかなど質問事項を調整する会派、国会や県議会などの動きを見ながら質問事項を決める会派などさまざまである。また、議員個人が一貫して取り組んでいるテーマについて質問を行う場合もある。
- 一般質問をする際、他市の先進事例を本市に当てはめるための独自の提案をするなど、質問の内容をしっかりと練って質問をする必要があるのではないか。
 - 議員）他市の先進事例を調査する際は、どのようにしたら本市でも取り入れられるかなど、一般質問の内容を考えながら視察や調査、研究を行っている。
- テレビ中継で市議会の様子を視聴したが、臨場感に欠け、中継を聞き流す程度の視聴になった。実際に本会議場や委員会を傍聴して臨場感のあるやりとりを直接見られると何か感じるものがあるのではないと思う。
- 一般質問の様子を見てみると、質問に当たり議員がいろいろと調査や勉強をして質問していることが伝わってきた。
- 自分たちが選挙で選んだ議員が実際にどのように活動しているのか大変興味があるので、市議会を傍聴したいという気持ちがある。また、市議会モニターとしての役割を果たすためにも、事前に市議会モニターが傍聴する日を決めて、事務局から市議会モニターへ声をかけるなどの取組があれば、市議会モニターも傍聴に来やすいのではないか。
 - 議員）一人でも多くの市議会モニターの方に本会議や委員会を傍聴していただきたいと思っている。例えば、市議会モニターをいくつかのグループに分けて傍聴に来ていただく日を市議会から案内するのも一つの案だと思うので検討したい。
- 普段は市議会モニターとしての意識が希薄になりがちなので、市議会からもっと市議会モニターとしての意識を持てるような形で案内してほしい。
- 普段は仕事や用事が優先になり、インターネットやテレビではしっかりと市議会の様子を視聴できないので意見もなかなか出せない。日時を決めて議会の活動を直接見られるようにすると良いのではないか。

市議会だより、市議会ホームページについて

- 市議会だより8月定例会月議会号を11月20日に発行しているのでは発行が遅いのではないか。もう少し早くに発行してほしい。
 - 議員）8月定例会月議会は10月5日が最終日であり、それから作成しなければいけない原稿もあるため11月の発行となっているのでご理解いただきたい。
- 市議会のホームページについて、PDFファイルがうまく開けないときがあるので改善してほしい。
 - 議員）事務局で確認させていただき、こちらで対応できるものであれば対応したい。
- SNSによる情報発信について、閲覧や登録は簡単にできるのか、また、登録者数が多いSNSは

何か。

→ 議員) 日頃から利用されている方であれば簡単にご覧いただけると思う。市議会だより 8 月定例会議会号にも登録用の QR コードを掲載しているが、不明な点があれば事務局に問い合わせたい。また、市議会が活用している SNS の中ではインスタグラムが最も登録者数が多い。多くの方に議会の活動を知っていただきたいので、興味があれば登録をお願いしたい。

○高校生と協力して作成した市議会だよりについて興味深く読ませてもらっている。

○コロナ禍で傍聴に行けなかったが、テレビ中継を録画して質問の様子を見てきた。議員の提案を聴いてなかなか実現が難しいなと思うこともあったが興味深く中継も見させてもらった。

○なんとなく市議会に対して堅いイメージがあったが、市議会の情報を SNS に掲載してもらうことでより身近に感じてもらい、ちょっとした時間に見てもらえることができると思う。

○文字を読んだ方が理解しやすいので、SNS やホームページはあまり見ないが、さまざまな手段で市議会の情報を得ていきたい。

その他

○図書館は地域文化のパロメーターと言われており、本市の新図書館の完成を楽しみにしているが、新図書館の理念や全貌がはっきり見えてない状態だと思うので、議員個人ではなく、会派のグループ力を発揮して調査、検討を行い、行政を動かして、四日市にふさわしい誇れる新図書館にしてほしい。

→ 議員) 新図書館については、機能や運営をはじめさまざまな意見があるが、市民にとって理想的な新図書館ができるように今後も取り組んでいきたい。

○議会で質問した後のフォローアップはどのようにしているのか。

→ 議員) 一般質問で質問した事項を委員会で改めて掘り下げて質問する場合や、その後の経過を議員個人で行政に確認するなどしている。

○会派内で質問の仕方や内容についてアドバイスなどしているのか。

→ 議員) 過去には、新しく議員になった人に対して勉強会を開くなどしていたが、最近是个々の議員が必要に応じてアドバイスをしている。

○意見交換会前に市議会についての説明をスクリーンを使って説明していただいたが、アクリル板越しではスライドが見にくかった。

→ 議員) 今後の参考にさせていただく。

○行政と比べて議会は身近に感じにくい。本会議や委員会を実際に見せていただくなどして議会をより身近なものにしてほしい。

市議会を視聴して思うこと

○議会を傍聴した、または中継を見たことがある …3名（参加者5名中）

○以前傍聴をしたことがあるが、議案は議員が提案するのか、市長側から議案が提出され議会で検討するのか。

→ 議員）基本的には市長側から議案が提出され、議員が審査を行い、その可否を決定する。議案は4つの常任委員会に分けられ、それぞれの委員会で詳細に審査を行う。委員会室には各常任委員会の委員と市の担当部局の職員が入り、各議案に対して質疑等を行った後、委員会として採決を行う。その後、議論等の内容を本会議場で委員長が報告し、最終的に本会議場で議会としての採決を行う。

→ 議員）ほとんどの議案は市長から提案されるが、議員にも提案権があり、規定数以上の人数が集まれば議案を提出することができる。他市と比べて四日市市は議員が議案を提出する件数は多いが、それでも年間数件程度で、条例制定や意見書の提出などの議案がある。ただし、予算議案を提案できるのは四日市市で市長一人しかいない。

○議員はかなり地域と密着しており、地域の窓口になっていると感じる。地域からの意見には、自分たちの都合のいいようなものもあるかもしれない。議会を活性化するためには、地域の住民にとって重要な課題が今議会で議論されているということが感覚として地域まで伝われば面白いと思う。議会というのは我々の声が届くようなそういう場所であってほしいと思うので、検討してほしいと思うがどうか。

→ 議員）議員は困りごとを聞く人というイメージがあるかもしれないが、議会は約1300億円という金額の予算を議決するというのが大きな役割である。地域の方などから予算の使い道や、生活する上での意見などをいただき、賛同するものは市長に提案し、市政に反映させるための体制はできていると思う。

→ 議員）市民の声を背負って会議に臨むのが議員の役割なので各地区の課題等を公式の場で議論するということが重要である。一般質問、委員会または個別に担当部局に対応を求めるなどさまざまな手法がある。

→ 議員）いただく意見は、個人のもの、地域で統一されたものなど、さまざまである。市長部局でも、地域の課題解決のため、例えば、生活に身近な道路整備事業として各地区の土木要望に対応するための予算を配分するなどの対応をしており、議会から、この予算を増額することを提案したというような対応もしている。

○初めて議会をインターネットで見て、話す言葉が難しいと感じた。一般質問において、議員も市長側の人も作文を読んでいるだけのように感じた。市長側の人も背景があり難しいのかもしれないが、国会のすれ違いの議論に似たものを感じて寂しいと感じた。

→ 議員）議員は一般質問の1週間ほど前に質問の内容について事前に通告をしている。その後、一般質問当日までの間に、担当部局から議員に対して質問の内容に関する聞き取りが行われ、それぞれ答弁書を作成して当日に臨んでいる。答弁書の作成に当たっては市全体で調

整会議を行った上で確定しており、各部長や市長、副市長がその答弁書に沿って答弁をしている。以前から、台本通り行われているとの指摘はされているが、市長側の答弁は公式の場で責任があるので仕方がない部分もあると思う。議員は原稿を読む人もいれば、ほとんど原稿なしで質問を行う議員もいる。1回目の答弁は部長も原稿を読むが、質問を続けるにつれて市長側も自分の言葉で答弁することもある。

→ 議員) 私は一般質問という制度自体の見直しが必要なのではないかと考えている。事前に調整された一般質問という場で議論が進んでも、答弁する市長側は意見を変えられないという側面があるため、何かが生まれるものではないのではないかと問題意識を持っている。

→ 議員) 委員会での議論は、質問も答弁も原稿を事前に作成しているものではないため、生の声を聞くことができる。各委員会もインターネット配信しているのでぜひ視聴してほしい。

○市長側の人がいい加減な答弁ができないという事情は分かったが、持ち時間のほとんどを使って原稿を読み上げているのを見ていて残念なので、1回目の答弁の後、細かいところを追求する部分が増えあっても良いと思った。

→ 議員) 議員によって質問の仕方もさまざまなので、いろいろな議員の質問を見てみてほしい。

○一般質問を見ていると議員がしっかりと調査研究していることがよく分かる。非常に残念なのは、課題、問題提起に対して、市長側がやるのかやらないのかをはっきりと答弁しないことが多く、議員からもさらに追及する必要があると思う。「検討します」「努めてまいります」という答弁が多いことについて残念に思う。もう一押し、「本当にやるのか」と念押しがないとむなしと感じる。

→ 議員) 公式の場で市長側も慎重になっている中で、何とか実施させる方向に持っていくことが重要で、いかに理屈を伝えて市長側がノーと言えないようにする場だと思っている。

市議会だより、ホームページについて

○市議会ホームページについて、高齢者はITのスキルが低いため、まずはその向上のきっかけづくりに取り組んでどうか。使ってみると利便性が高いことはわかるが、高齢者でスマートフォン、パソコンを使用する人はごく一部であるため、市議会ホームページで情報を公開していても、市民がそれを見ていると考えるのは実態とかけ離れていると思う。市議会としても、スマートフォン、パソコンをこういう風に使いますというような取り組みを行ってきっかけづくりを行えば、議会のホームページを利用する人が増えるのではないかなと思う。

→ 議員) ご意見として承る。市長側が行うべきこととして同じことが言える。市議会だよりの一般質問の箇所にQRコードを掲載しており、これをスマートフォンで読み込むと一般質問の映像を閲覧することができ、これは一つスマートフォンを使うための第一歩として良いと思う。

○理念だけでは市民は動いてくれないので、例えば、マイナポイントのように、市議会だよりのQRコードを読み取ってくれた人にポイントをプレゼントするなど、実際にやってみようと思うような仕掛けがあってもいいのではないかなと思う。

→ 議員) 一つのアイデアとして承る。

○議会だよりはとても丁寧に作られていて、議会のことがよく分かる。一般質問のページについては、テーマがばらばらに掲載されているため、質問された内容ごとに整理して、防災関連、健康関連というように分類すればより読みやすくなるのではないかな。

→ 議員) 市議会だよりの一般質問のページは、実際に質問した順番に沿って、会派ごとにまとま

って掲載している。項目ごとにまとめると、会派、順番がばらばらになるという側面がある。読みやすくするためのご意見として承る。

議会の運営について

○**中心市街地整備や総合計画など、その時の市の重大なテーマに関して各会派が意見を表明したり、集中して議論を行うなど、各会派、議員がどのような意見を持っているのか表明できる機会があると市民も盛り上がると思う。そうしたメリハリをつけたことも行って良いのではないかと思う。**

→ 議員) 予算審査、決算審査ではそのようなテーマごとの議論も行っている。一般質問は個人の意見を表明する場であるが、会派や議員がテーマを出し合って、集中して議論を行う機会を設けるなど、抜本的に現在の仕組みを変えていくということも一つの手法だと思う。

市議会モニターについて

○**市議会モニターについて、モニターの役割は議会の運営に関する意見を寄せることだが、議会運営に関することとなると言うことが限られてしまう。一般質問の内容に関するコメントくらいさせてほしい。長時間一般質問を聞き、内容について意見を述べるができないのはむなしいと感じる。**

→ 議員) 本来は議会運営のあり方に関する意見をいただきたいという目的の制度だが、質問の内容、市政についての意見も多数いただいている。一般質問や市政に関する内容でも、いただいた意見は、議員の目に触れるようになっており、質問者にとって身になることや、反省につながるなど、意味はあると思うので今後もぜひ意見を送ってほしい。

その他

○**四日市市はデジタル化が進んでいるのか。病院でもマイナンバーで薬を処方していた。日本は他国と比べてデジタル化が遅れていることが心配なので、もっと力を入れてほしいと思う。**

→ 議員) 国ではデジタル空間に都市を再現するという取り組みを始めるなど先進的な取り組みも進めている。四日市市でもできる所を取り入れており、「よんデジ券」もその取り組みの一つと捉えている。個別の取り組みはたくさん行っているが、何がどのように進んでいるのかというのはあまり見えていない。全国的に見て四日市市が遅れているということはないと思う。

→ 議員) 議会も紙資料を無くしていくためにタブレット端末の導入などの取り組みをしている。

○**近鉄四日市駅周辺等整備事業は、市長が国からの財源を引っ張ってきたのか。足りないところは市民の税金なのか。**

→ 議員) 今回の中心市街地で行おうとしているバスタ事業は近鉄四日市駅周辺のバス乗り場が3ヶ所に点在しているという課題があり、そこに対して国から予算が下りてくるようになった。それに合わせて道路整備など四日市市として負担する費用もあるが、バスターミナル整備事業に選ばれたということは良いことだと思う。中心市街地だけでなく他の地域ももっと良くなるようにすべきだという意見もあり、バランスも非常に大事だと思う。

→ 議員) 大きなプロジェクトについては、一般質問以外にも、議員説明会や、関連予算の審査予算審査、休会中に委員会を開いて詳しく議論するという取り組みもしている。バスタ事業の場合は都市環境常任委員会が所管している。